

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	09	01	01	194030	火災予防充実強化事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		1,907	2,131		224
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	1,907	2,131		224

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標
火災予防対策の強化を図り、火災を未然に防止する。

事業開始の背景・経緯
消防は火災を予防し、国民の生命、身体、財産を火災から保護することを目的にしていることから、火災予防対策の充実強化を図ろうとするものである。

事業概要
講話会・火災予防強化活動の実施 1,006千円 防火管理者講習会の開催、防火意識普及啓発活動 消防フェスティバルの実施 75千円 消防車両・装備品の展示、放水体験、ポンプ自動車乗車体験 幼年・少年消防クラブ防火活動の推進 240千円 消防作品展(小学生対象)、幼年消防クラブ絵画展(園児対象) 少年消防クラブリーダー研修会(小学生対象)の実施 職員教育研修 810千円 消防大学校入校、県消防学校入校、消防庁消防研究センター主催の研修会等での研修

担当部署	31100000 消防本部 消防本部	担当課長	小原敏裕
------	--------------------	------	------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細1
1 講話会・火災予防強化活動の実施 1,006千円(前年比: 44千円) 消耗品費481 印刷製本費344 会場借上料40 備品費141 内容 防火管理者講習(新規講習・再講習)、事業所等への訓練指導、防火講話 春・秋季火災予防運動、住宅用火災警報器普及促進・維持管理広報 防火対象物・危険物施設への立入検査 経費 講習会テキスト、火災予防ポスターの制作、訓練用教材の購入、火災予防視覚教材(DVD)
2 消防フェスティバルの実施 75千円(前年比: 17千円) 消耗品費75 内容 消防車両、備品の展示、放水体験、ポンプ自動車乗車体験、消防装備の試着体験等 消防演習と同時開催 経費 来場者記念品、ペンシルバルーン、パッチンヨーヨー
3 幼年・少年消防クラブ防火活動の推進 240千円(前年比: 140千円) 消耗品費240 内容 幼年消防クラブ絵画展(秋・春季火災予防運動)、少年消防クラブ作品展(周期火災予防運動) 少年消防クラブリーダー研修会(消防本部施設・車両見学、各種訓練体験) 経費 絵画展・作品展展示用消耗品、訓練資材
4 職員教育研修 810千円(前年比:425千円) 旅費456 図書教材費324 手数料30 内容 消防大学校予防科・県消防学校入校、消防庁消防研究センター主催研修会等の受講 経費 旅費、図書教材費、手数料

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	09	01	02	194090	消防拠点施設等整備事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		49,700	104,557		54,857
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	43,100	94,700		51,600
	その他	0	0		0
	一般財源	6,600	9,857		3,257

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標

消防施設を整備し、災害対応力を充実させ、「安心・安全」な環境を確保する。

事業開始の背景・経緯

消防拠点施設の充実・強化のため、施設及び車両を更新整備する。

事業概要

消防車両等の整備 87,278千円
 小型動力ポンプ付大型水槽車（花巻中央消防署）
 高規格救急車（花巻中央消防署）
 消防指令センター装置更新整備 17,280千円
 停電時における安定した電源供給を得るため、経年劣化した無停電電源装置を更新

担当部署	31100000 消防本部 消防本部	担当課長	八重樫晴彦
------	--------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

消防拠点施設等整備事業
 1. 消防車両等の整備 87,278千円
 役務費 43、備品購入費 87,021、公課費 214
 (1) 花巻中央消防署小型動力ポンプ付大型水槽車更新 55,203千円
 (経費内訳) 12節 リサイクル料金 13
 自賠責保険料 9
 18節 備品購入費 55,000
 27節 重量税 181
 (財源内訳) 合併特例債 50,600
 一般財源 4,603
 (2) 花巻中央消防署高規格救急車更新 32,075千円（高規格救急車 20,250、積載資機材 11,825）
 (経費内訳) 12節 リサイクル料金 12
 自賠責保険料 9
 18節 備品購入費
 車両 20,196
 積載資機材 11,825
 27節 重量税 33
 (財源内訳) 合併特例債 27,700
 一般財源 4,375
 2. 消防指令センター装置更新整備 17,280千円
 (経費内訳) 13節 委託料 17,280
 (財源内訳) 一般財源 17,280

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	09	01	03	194130	消防団員育成強化事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		28,573	9,631		-18,942
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	28,573	9,631		-18,942

特定財源の内訳					
事業期間	単年度繰返	期間限定	平成31年度	～	平成31年度

部重点施策における目標
地域消防力を強化するため、消防団組織の充実と活性化を図る。

事業開始の背景・経緯
社会構造の変化から消防団員は減少傾向であり、また団員の高齢化も進んでいる。地域防災に重要な役割を担う消防団員を確保するため、消防団への加入を推進するとともに、団員に対する訓練、教育を充実させ、安全迅速な現場活動に繋げるものである。

事業概要
消防団員への教育、研修 1,279千円 消防大学校、県消防学校へ入校し、階級に応じて必要となる知識・技能を習得 他消防団の組織や活動を視察し、組織見直しや今後の在り方を検討 消防演習の実施 2,894千円 日頃の訓練成果を披露し、防火・防災意識の向上を図るとともに消防団に対する関心を高め入団促進に繋げることを目的に開催 消防団員活動装備 5,458千円 活動に必要な装備の更新整備(活動服上下、乙種半纏、ヘルメット、編上靴及び消防ホース等)

担当部署	31100000 消防本部 消防本部	担当課長	岡田弘康
------	--------------------	------	------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1
1 消防団員への教育、研修 1,279千円(前年度比:165千円) 費用弁償 792千円、消耗品費 83千円、自動車借上料 404千円 (1) 消防学校入校 253千円 ・初級幹部科 7名入校 消防団の運営に必要な規律、安全管理の重要性について理解するとともに、地域住民に対する防災指導法を学ぶ。 ・現場指揮課程 8名入校 火災防ぎよ、水災活動、救助救命、避難誘導、情報収集・伝達に係る的確な現場指揮、安全管理の知識及び技術を習得するとともに、自主防災組織等に対する防災指導法を学ぶ。 ・分団指揮課程 8名入校 分団指揮者として消防団の管理運営及び活性化に資する広い知識と、各種災害発生時における分団の管理運営及び効率的な現場活動の在り方について学ぶ。 (2) 消防大学校入校 86千円 ・消防団長科 1名入校 消防団の上級幹部に必要とされる、消防団運営、女性消防団活動、行政動向、消防実務管理、安全管理について学ぶ。 (3) 視察研修 536千円 ・視察研修場所 青森市青森消防団 分団長以上の階級の者29名参加 青森市青森消防団で行っている消防団への加入促進に繋がる取り組み「入団促進プロジェクトチーム」の活動等について研修を受講。 (4) 視察研修バス借上料 404千円 2 消防演習の実施 2,894千円(前年度比:537千円) 謝礼金 179千円、消耗品費 303千円、食糧費 259千円、会場設営等業務委託料 1,761千円、自動車借上料 392千円 (1) 内容 各種訓練、放水試験、幼年消防クラブ演技 等 (2) 開催日 令和元年6月2日(日) (3) 場所 第1会場(上町:分列行進)・第2会場(北上川河川敷:各種訓練等) (4) 経費 会場設営等(合図煙火、会場除草、テント・テーブル・椅子設営・看板設置・音響)借上(送迎バス)、参加団体への謝礼、炊き出し訓練用食材、放水試験水着色剤等 3 消防団員活動装備 5,458千円(前年度比:18,570千円) 消耗品費 2,376千円、貸与被服費 3,082千円 (1) 現場用消防ホース更新(80本) 2,376千円 (2) 貸与被服(活動服、半纏、編上靴等) 3,082千円

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	09	01	04	194180	消防団施設等整備事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		73,174	92,121		18,947
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	60,300	73,200		12,900
	その他	0	0		0
	一般財源	12,874	18,921		6,047

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	平成31年度	~	平成31年度
------	-------	------	--------	---	--------

部重点施策における目標

消防施設を整備し、災害対応力を充実させ、市民の安心・安心な環境を確保する。

事業開始の背景・経緯

火災をはじめ風水害、地震等の災害から市民を守るため、消防団員の活動の拠点となる消防屯所や消防車両等の整備は重要である。施設の長寿命化を図りつつ、団員の活動に支障を来さないためにも、計画的に更新整備を進めている。

事業概要

消防団施設の整備 1,142千円
 屯所耐震診断 2棟
 第11分団第2部(大迫・亀ヶ森)
 第16分団第1部(石鳥谷・五大堂)
 旧屯所解体 第16分団第2部(石鳥谷・東中島)
 公共下水道への接続 1,080千円
 第15分団第2部(石鳥谷・八重畑)
 消防団車両等の整備 44,641千円
 消防ポンプ自動車 1台
 小型動力ポンプ積載車 3台
 小型動力ポンプ 3台

担当部署	31100000 消防本部 消防本部	担当課長	岡田弘康
------	--------------------	------	------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

- 消防団施設の整備 1,142千円(前年度比: 13,954千円)
 - 屯所耐震診断業務委託 2棟 735千円
 - 第11分団第2部(大迫・亀ヶ森) 昭和56年建築 木造平屋建(124㎡)
 - 第16分団第1部(石鳥谷・五大堂) 昭和54年建築 木造平屋建(45㎡)
 11-2及び16-1の屯所は、S56年以前の建築であり、組織再編後も存続とする計画である。2屯所とも耐震基準不適合であることから、耐震補強工事を計画する。
 - 旧屯所解体業務委託 407千円
 第16分団第2部(石鳥谷・東中島) 移転新築に伴い旧屯所を解体
- 公共下水道への接続業務委託 1,080千円(前年度比: 292千円)
 第15分団第2部(石鳥谷・八重畑) 平成2年建築
 農業集落排水施設へ接続
- 消防団車両等の整備 44,641千円(前年度比 12,065千円)

(1) 第12分団第2部(石鳥谷・駅前)	27年経過	消防ポンプ自動車	19,800千円	更新
(2) 第1分団第5部(花巻・桜町)	24年経過	小型動力ポンプ積載車	6,380千円	更新
(3) 第9分団第6部1班(大迫・中乙)	24年経過	小型動力ポンプ積載車	6,380千円	更新
(4) 第22分団第2部(東和・南川目)	25年経過	小型動力ポンプ積載車	6,380千円	更新
(5) 第1分団第5部(花巻・桜町)	24年経過	小型動力ポンプ	1,848千円	更新
(6) 第9分団第6部1班(大迫・中乙)	24年経過	小型動力ポンプ	1,848千円	更新
(7) 第22分団第2部(東和・南川目)	25年経過	小型動力ポンプ	1,848千円	更新

 手数料・保険料 71千円、重量税 86千円

事業費の表の「当該年度決算額」は、当該年度事業費と前年度繰越事業費の合計額です。

平成 31 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

担当部署 部名 消防本部 課名 総務課 担当課長 岡田 弘康

(単位：千円)

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	09	01	04	198010	消防団施設等整備事業(繰越)

単位：千円

		30年度 決算額(A)	31年度 決算額(B)	次年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			45,258		45,258
財 源 内 訳	国・県				
	地方債		32,900		32,900
	その他				
	一般財源		12,358		12,358

※特定財源の内訳

- ・過疎対策事業債 13,200千円 (起債対象経費×100%)
- ・緊急防災・減災殺事業債 19,600千円 (起債対象経費×100%)

事業期間	<input type="radio"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-----------------------------	-------------------------------	-----------------

部重点施策における目標

消防施設を整備し、災害対応力を充実させ、「安心・安全」な環境を確保する。

事業開始の背景・経緯

火災をはじめ風水害、地震等の災害から市民を守るため、消防団員の活動の拠点となる消防屯所や消防車両等の整備は重要である。このことから、施設の長寿命化を図りつつ、団員の活動に支障を来さないためにも、計画的に更新整備を進めている。

事業概要 …目的を実現するための事業手法を記載すること

○消防団施設の整備

- ・第13分団第2部(石鳥谷・上大瀬川)消防屯所の新築工事
- ・第18分団第1部(東和・駅前)消防屯所の耐震補強等工事

意見・要望等の状況(市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

1 消防団施設の整備 45,258千円

- ・第13分団第2部(石鳥谷・上大瀬川) 消防屯所新築工事 23,415千円
(用地測量、分筆等業務委託及び設計業務委託は、前年度実施済)
- ・第18分団第1部(東和・駅前) 消防屯所耐震補強等工事 21,843千円
(平成30年度、工事請負契約を締結し、13,716千円を工事前金払済。解体工事中、外壁塗材にアスベスト含有が判明したことから、追加工事及びアスベスト処理の増工により、年度内の工事完了が困難となり平成31年度へ繰越)

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	09	01	04	194190	消防水利維持管理整備事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		49,459	40,473		-8,986
財源内訳	国費	2,693	2,693		0
	県費	0	0		0
	地方債	30,200	20,900		-9,300
	その他	0	0		0
	一般財源	16,566	16,880		314

特定財源の内訳

事業期間	単年度繰返	期間限定	平成31年度	~	平成31年度
------	-------	------	--------	---	--------

部重点施策における目標

消防施設を整備し災害対応力を強化させ、「安心・安全」な環境を確保する。

事業開始の背景・経緯

火災発生時の消火を迅速に行うため、消防水利の整備と維持管理を行う。

事業概要

消火栓等維持管理 12,832千円
 消火栓保守及び維持管理(保守点検2,040基、修繕38基)
 消火栓整備 22,597千円
 消火栓設置 9基(円万寺、中根子、湯本、西宮野目、太田、亀ヶ森、大瀬川、好地、鷹巣堂)
 消火栓移設 3基(湯口、本館、土沢)
 水道配水管敷設替えに伴う老朽化消火栓更新 6基(石鳥谷地域6基)

担当部署	31100000 消防本部 消防本部	担当課長	八重樫晴彦
------	--------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細1

消防水利維持管理整備事業 35,429千円
 1. 消火栓等維持管理 12,832千円
 (1) 消防水利等維持管理 689千円
 (内訳)・防火溜池等補修作業員賃金 164
 ・消防水利標識の購入 426
 ・防火溜池等補修資材の購入 99
 (2) 消火栓維持管理 12,143千円
 (内訳)・消火栓保守点検費分負担金(2,040基)4,560
 ・消火栓一般修繕分負担金(38基)7,440
 ・消防活動時使用水量分負担金 143
 2. 消火栓整備 22,597千円
 (1) 消火栓設置分負担金(9基)13,474千円
 (内訳)円万寺、中根子、湯本、太田、西宮野目、亀ヶ森、好地、大瀬川、鷹巣堂
 (2) 消火栓移設分負担金(3基)2,860千円
 (内訳)本館、湯口、土沢
 (3) 水道配水管敷設替えに伴う老朽化消火栓更新分負担金(6基)6,263千円
 (内訳)石鳥谷地域6基

特定財源の内訳

- ・合併特例債 14,400千円(起債対象経費×95%)
 (内訳)・新規設置分6基...円万寺、中根子、湯本、太田、西宮野目、好地
 ・水道配水管敷設替えに伴う老朽化消火栓更新分6基...石鳥谷地域6基
- ・過疎対策事業債 2,900千円(起債対象経費×100%)
 (内訳)・新規設置分2基...亀ヶ森、鷹巣堂
- ・辺地対策事業債 1,400千円(起債対象経費×100%)
 (内訳)・新規設置分1基...大瀬川

事業費の表の「当該年度決算額」は、当該年度事業費と前年度繰越事業費の合計額です。

平成 31 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	09	01	04	198510	消防水利維持管理整備事業(繰越)

単位：千円

		30年度 決算額(A)	31年度 決算額(B)	次年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			5,044		5,044
財 源 内 訳	国・県		2,693		2,693
	地方債				
	その他				
	一般財源		2,351		2,351

※特定財源の内訳

・消防防災施設整備費補助金 2,693千円(5,386,000円(国1/2)×1基)

事業期間	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
部重点施策における目標			
消防施設を整備し、災害対応力を充実させ、市民の安心・安全な環境を確保する。			
事業開始の背景・経緯			
市は火災を予防し消火する義務があり、そのためにも消防水利を設置、維持管理する必要がある。			
事業概要			
○防火水槽整備 5,044千円 耐震性貯水槽設置(天下田・花巻北中学校敷地内)1基			
意見・要望等の状況(市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等)			

担当部署 部名 消防本部 課名 警防課 担当課長 八重樫 晴彦

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】	
○ 防火水槽整備(明許繰越)	5,044千円
◇耐震性貯水槽(40㎡)整備 1基 (天下田:花巻北中学校敷地内) (充当財源:消防防災施設整備費補助金2,693千円、一般財源2,351千円) (内訳) ・耐震性貯水槽設置工事費 5,044千円 (平成30年度、工事請負契約を締結し、工事前払金5,000千円は、前年度支払済み。)	
※事業完了年月日 令和1年5月16日	